

○「砂丘農地3地区で合同協議の場設置へ」

(京都市京丹後市 砂丘3地区 平成31年度第2回)(久美浜地域会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年2月14日(金) 19:00~21:30
- 場 所: 京丹後市久美浜町鹿野集会所
- 出席者: 委員1人、推進委員1人
各地区役員等13人、関係機関4人
委員2人、委員以外17人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 旧村8地区からなる広大な地域で、三つの河川と山間部、平地、砂丘地、国営農地などにより、多様な農業が実施されている
- 山間部については、遊休農地が見られるが、農業法人11社が担い手の中心となっている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 砂丘農地の研修: 丹後農業普及センターより特産品の栽培適地として砂丘農地の活用を要請
・砂丘畑の砂利採取には不安があり関係機関での協議会を要請することで一致。調整役は農委
- 意見交換
・これまで、地権者も耕作者も個々の活動でしかなかったが、今後は地域で対応することで一致
・今後の進め方は、地域性を考慮して3地区個々に協議をすることとし、第1回を3月中に行うことで決定
・年数回、3地区合同の協議を行うことで合意



4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援